

株式会社名村造船所

かみむらがくえんまええきほどうきょう 神村学園前駅歩道橋

[概要]

神村学園前駅歩道橋は鹿児島県いちき串木野市別府にある JR 九州鹿児島本線の神村学園前駅と直結しており、駅舎より直接利用が可能なことから、安心・安全な歩道空間が確保されるとともに、横断歩道の利用者が減ることで、朝夕の駅利用者の渋滞も緩和され地域を支える新たなシンボルとして期待されている。

発注者：九州地方整備局 鹿児島国道事務所
工事名：国道3号別府地区横断歩道橋設置工事
引渡場所：鹿児島県いちき串木野市別府地内
竣工：2020年6月29日

[仕様]

橋長：26.300m
幅員：2.000m
鋼重：33.600t
鋼種：SM490YB, SM400A, SS400
橋梁形式：鋼中路式鋼床版鋸桁橋
架設工法：ラフテレーンクレーン架設工法



竣工写真

[現地施工概要]

本工事は、国道3号を跨ぐ歩道橋設置工事で国道の夜間全面通行止めを伴う作業となることから、国道上での作業を最小限に減らし、夜間全面通行止めの日数を短縮することを目的として、発注者およびいちき串木野市と以下の協議・調整を行った。

施工方法①：駅側ロータリーの一部を使用して、通路桁（3ブロック）の地組立てを行う。（写真1,2）

施工方法②：地組立てを行った通路桁は接合（溶接・ボルト）および塗装まで行う。

施工方法③：信号施設・照明施設の一部を架設前に先行して取り付ける。



写真1 通路桁の地組立て状況



写真2 通路桁の地組立て完了

また、国道の夜間全面通行止めを行う際の作業についても、架設用クレーンの組立解体や通路桁の架設（写真 3）、信号機の移設や照明設備の設置（写真 4）など、主となる作業の時間工程（タイムスケジュール）を詳細に検討して計画を行った。結果、作業を円滑に進めることができ、予定時間よりも早く夜間全面通行止めを解除することができた。



写真3 通路桁の架設状況



写真4 信号機・照明設備の取付け状況

〔特記〕

夜間架設時においては国道3号の規制時間を短縮するため、クレーン能力を70tから120tへ変更して施工しました。また、本橋を通して鹿児島国道事務所の若手技術者向け勉強会も開催され多くの関係者に見守られながら無事架設完了となりました。

歩道橋完成後の7月3日には、「神村学園前駅横断歩道橋・連絡通路橋渡り初め式」が執り行われました。小雨交じりの中、プラスバンド部の壮大な演奏がなされ渡り初めを行いました。



渡り初め式写真



全体写真

本工事の施工場所であるいちき串木野市は鹿児島県の西部に位置し、江戸時代には英国への出発地とも言える黎明の地があることから、歴史を感じさせる地域のひとつとなっています。また、神村学園前駅はその名の通り神村学園に隣接した駅であり、地域の方々だけでなく学校に通学する方々にも多く利用されています。本橋の完成によって通学する方々は通行車両を気にすることなく駅から直接国道を横断することができ、大変便利になることは間違いありません。本橋が学校生活の一部として活用されることを大変嬉しく思うと同時に、長期に渡り、地域の方々に親しまれる横断歩道橋として活用されることを願っております。